

令和5年度 外郭団体 評価シート

団体名	公益財団法人静岡産業振興協会	所管課	産業振興課
設立目的	地域の中小企業等の製品開発・技術の向上、人材育成、創業の促進及び経営基盤の強化を支援するとともに、人、物、情報等の交流拠点である静岡産業支援センター（ツインメッセ静岡）の管理運営に関する事業を行い、もって地域産業の振興並びに地域経済及び地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。		
団体の役割	1. ツインメッセ静岡の展示機能や地場産業の支援機能等を活かした地域経済の活用化 2. 静岡市中小企業支援センターを通じた中小企業課題解決による地域経済の活性化 3. 公益性、専門性等を活かした機動的な支援の実施		

《経営計画書 取組状況》

1 団体の取組状況

(1) 団体における取組と結果

施策	評価指標	目標値	実績	備考
ツインメッセ静岡の展示機能等を活かした交流人口拡大による地域経済の活性化	施設利用顧客の満足度の向上	ヒアリング調査	実施	経営計画最終年度（令和8年度）目標 顧客満足度85%
	利用率（貸出施設）	南北大展示場利用率48%	50.6%	
	ツインメッセの認知度向上	Xのインプレッション数150,000件以上	1,347,314件	
1 団体意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示場利用者を中心に「利用に関するアンケート」調査を実施、56件の主催者から回答を得た。いただいた意見のうち改善可能なものから着手を進め、令和6年度に貸出用長机の新規購入（50脚）、有料貸出モバイルルーターの導入を実施する。 令和6年度以降も引き続きアンケート調査を進め、施設利用顧客の満足度向上に努めていく。</li> <li>・ 産業振興に数多く携わってきた職員が催事開催支援のノウハウを活かし、適切なアドバイスを行い催事成功に導いた。結果として、南館大規模改修工事を実施した令和4年度の34.4%を16.3%上回る50.6%となった。今後、令和8年度を目標にコロナ禍前の利用率（H28～R元：55%）を目指す。</li> <li>・ 即時性、拡散性が高く利用者の多いXを活用し、現在進行形の旬な魅力ある情報を全国の利用者及び来場者へダイレクトに届けた結果、当初目標のインプレッション数150,000件を大きく上回る1,347,314件のインプレッション数を獲得した。令和6年度からは公式の証であるブルー認証も取得し、より多くの情報発信が可能となることから、さらなるツインメッセ静岡の認知度向上に向けた情報発信を図る。</li> </ul>			

	関係課意見	<p>利用顧客へのアンケート調査内容の反映や催事開催支援によりツイインメッセ静岡の展示機能を活かす取組を行っている点が評価できる。Xについても人の目を惹きつける旬な情報を多く掲載し目標を大きく上回るインプレッション数を獲得したことにより認知度向上に寄与した点が評価できる。Xに限らず多様な層にアプローチできる情報発信手段により認知度向上に努めてもらいたい。今後も催事誘致及び認知度向上に向けた取組を継続することをお願いしたい。</p>			
2	項目	評価指標	目標値	実績	備考
	地場産業界との連携強化による地場産業の振興	ニューウェーブ「しずおか」創造事業での実用化商品件数	2件	3件	
		産業フェアしずおかの出展者、来場者の満足度	出展者満足度90%以上 来場者満足度90%以上	出展者満足度82% 来場者満足度99%	
		地場産業関連団体・施設等と連携した地場産業サポーターづくり	オープンファクトリーやワークショップなどのイベントの実施	工場見学バスツアーを実施	
団体意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニューウェーブ「しずおか」創造事業のアフターフォロー事業として協会独自で実施している地場産業販路開拓・PR事業において、インテリアライフスタイル、東京インターナショナルギフトショーの2つの展示会への出展機会を確保した。その結果ニューウェーブ「しずおか」創造事業で開発した商品の実用化から販路開拓までの道筋ができ、実用化商品件数2件の目標に対して、3件の成果となった。</li> <li>・産業フェアしずおかでは、レイアウト変更などの新しい試みに挑戦したため出展者満足度は目標値の90%以上から下回り82%となったが、木工工作体験、プラモデル体験や交流物産ストリートなどのコンテンツを強化・充実したことで、来場者満足度は目標値90%を大幅に上回る99%とほぼ来場いただいた皆さま全てから高評価をいただけた。</li> <li>・静岡市の地場産業・地域産業を盛り上げる目的で、静岡市やものづくりイベント（ファクハク、共生、産業フェアしずおか）と連携して、ものづくりの技をPRするための工場見学バスツアーを実施した。合計9コースのバスツアーを企画し、ツアー参加者109名が参加企業延べ25社を訪問し静岡のものづくりの技を現地での説明と共に見学した。</li> </ul>				
関係課意見	<p>補助金事業である地場産業支援事業を継続、発展させた自主事業の販路開拓事業で目標を上回る成果を上げたことは評価に値する。産業フェアでの出展者満足度の減少はレイアウト変更など新規改革への果敢な取り組みには付き物であり、来場者満足度の向上を考えれば大いに評価できる。今度とも自主的な取り組みに期待したい。</p>				

項目	評価指標	目標値	実績	備考
静岡市中小企業支援センターを通じた中小企業課題解決による地域経済の活性化	新規創業者数、新商品開発件数、新分野進出件数	40件以上	53件	<内訳> 新規創業者数：34件 新商品開発件数：10件 新分野進出件数：9件
3 団体意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業者支援事業では、創業に関する基礎知識習得のため、学生及び社会人向けの各種セミナーを実施した。</li> <li>・ビジネスプランコンテストは22回目を迎え、応募内容の質的には向上しているものの、他社で大規模のコンテストが増えていることもあり、応募件数が年々減少しているため、他社との棲み分けが課題となっている。</li> <li>・マーケティング支援講座は、市場調査スキルや集客などタイムリーで実践的な内容で実施、主にオンライン方式やハイブリッド方式で展開した。</li> <li>・産学連携事業では、コーディネータによる相談、産学連携コーディネータ会議、会社・研究機関見学、産学共同研究等を通じて、静岡地域の産学官連携を支援した。</li> <li>・中小企業販路開拓支援事業では、WEB関連のミニセミナーを年間計16回開催し、DXニーズに対して充実した対応をした。</li> <li>・専門家派遣事業では、WEBマーケティング関連の相談が増えてきたことから、ITの新規専門家を5名確保した（目標：2名以上）。</li> <li>・今後は、創業者の事業継続のためのフォローアップや、さらに高まるDXニーズへの対応を充実させていく。また、昨今はコロナ禍の反動で対面セミナーのニーズが増えているため、徐々に対面講座を増やし、さらなる交流やネットワーク構築を図る。</li> </ul>			
関係課意見	<p>コロナの感染症法上の位置付けが5類に移行し、セミナーや交流会のほか、窓口相談、専門家派遣といった対面で実施する事業を増加させた等、ニーズに合わせて事業を行った点は評価できる。今後もDXやIT化といった事業者ニーズに速やかに対応していくことで、適切な中小企業者の支援に繋げていくことに期待する。</p>			

## (2) 取組全体の総括

外郭団体
<p>新型コロナウイルス感染拡大に伴うパンデミック以降、社会を取り巻く様々な環境が変わりゆくなかで、当協会職員が既成概念にとらわれず臨機応変に対応し事業に取り組んだ結果、各事業で概ね評価指標を達成することができた。今後はコロナ禍後において新たな視点を持ち事業を継続・成長させることが必要だと考える。</p>
静岡市
<p>新型コロナウイルス感染症の5類への移行や経済変動により顧客ニーズが変遷する中、各事業において自主的な取組みを行い概ね評価指標を達成したことを評価する。目標値を下回った産業フェアの出展社満足度についても新しい試みによるものであり、今後に期待できる結果だと考える。今後も自主的な取組みにより、多様化する顧客ニーズや社会情勢の変化に対応していくことを期待する。</p>

## 2 団体の財務・人員の状況

### (1) 収支状況

区分		R4年度決算	R5年度決算	増減理由等補足事項
収入	事業収入	1,760,807,996	1,431,673,082	
	事業外収入	16,277,000	9,585,000	退職給付引当資産取崩収入の差
	その他	0	0	
	合計	1,777,084,996	1,441,258,082	
支出	事業支出	594,710,260	608,347,030	
	事業外支出	1,225,844,040	609,047,864	建設仮勘定支出額の差
	その他			
	合計	1,820,554,300	1,217,394,894	
収支差		-43,469,304	223,863,188	

### (2) 正味財産（純資産）の状況

区分		R4年度決算	R5年度決算	増減理由等補足事項
収入	経常収益	1,751,890,996	1,252,901,556	
	経常外収益	0	165,237,526	南館大規模改修分の消費税還付(R5)
	その他	0	0	
	合計	1,751,890,996	1,418,139,082	
支出	経常費用	791,107,809	1,095,024,286	
	経常外費用	0	0	
	その他	0	0	
	合計	791,107,809	1,095,024,286	
収支差		960,783,187	323,114,796	

### (3) 資産の状況

区分		R4年度決算	R5年度決算	備考（増減理由・内訳等）
資産	固定資産	5,595,541,158	5,688,762,056	
	流動資産	344,767,478	579,558,196	
	合計	5,940,308,636	6,268,320,252	
負債	固定負債	58,070,480	52,039,770	
	流動負債	64,908,525	75,836,055	
	合計	122,979,005	127,875,825	
正味財産	基本財産／資本金	5,817,329,631	6,140,444,427	
	剰余金等	0	0	
	合計	5,817,329,631	6,140,444,427	

#### (4) 職員数の推移

年度	種別	職員種別			合計	増減理由等
		市OB	プロパー	その他		
R4	常勤	5	20		25	
	非常勤		4		4	
	臨時				0	
	合計	5	24	0	29	
R5	常勤	4	21		25	
	非常勤		5		5	
	臨時				0	
	合計	4	26	0	30	
R6	常勤	2	23		25	
	非常勤		3		3	
	臨時				0	
	合計	2	26	0	28	

#### (5) 財政・人員体制の現状分析・課題

・ ツインメッセ静岡の令和5年度貸館事業は、施設使用料金及び駐車料金の改定を実施したほか、新型コロナウイルス移行、南館大規模改修の完了などの要因を受け目標とする収入は確保でき、令和5年度の決算額は、収入計1,441,258千円、支出計1,217,394千円で収支差額は223,864千円の黒字となり、コロナ禍前の水準に戻りつつあるが、支出では電気料金の高止まりや人件費高騰による委託料の増加を受けるなど、今後も財政面での影響が懸念される。

・ これまでの協会運営に深く携わってきた者の定年退職が相次ぎ、協会創設以来の大きな世代交代のタイミングとなっている。健全な事業継承を進めるため計画的な人事を行うことが急務となっている。

#### (6) 分析結果や課題を踏まえた団体における財政・人員体制の見通しと今後の取組

・ コロナ禍で失った顧客をカバーすべく、新分野に目を向けた新規利用者への積極的営業をするほか、地域ブランド「模型・ホビー」分野に特化した営業を引き続き取り組む。

・ 健全な事業継承を行うための人員配置および新規職員の採用。

### 3 全体総括・評価

外郭団体
ツインメッセ静岡貸館事業では、利用率回復にむけ、利用者への的確なサポートや積極的な営業を実施したほか、SNSツールを活用し情報発信を強化した結果、利用率・売上ともに目標値を達成することができた。地場産業支援事業では、伝統工芸技術保存講習会において、受講生が「第70回日本伝統工芸展」へ出品し入選を果たした。また「産業フェアしずおか」はプラモデル工作や木製椅子づくりなどの体験コーナーを拡充し、来場者アンケートでもフェアに対して高い評価を得た。産学交流センターではコロナ禍が収束したため対面式でのセミナー開催を増加したほか、IT相談員を設置しWEBマーケティングの相談を受けるなど、中小企業の多様化する経営課題の解決を図り中小企業の支援を行った。
静岡市
催事開催に係る適切な支援や産業フェアのコンテンツ充実、ニーズに沿ったセミナーの開催等によりコロナ禍以降の利用率回復に向けた取組みを行い各事業で概ね目標値を超える結果が出た。経験の長い職員の技量による成果でもあることから、来る世代交代のタイミングに向け計画的な人事配置を行い、健全な事業活動を継続してもらいたい。今後もDX化やオンライン化等、ニーズの多様化による対応事項に対応するとともに、市も連携し円滑な業務運営を維持していきたい。

### 4 市への要望・意見（外郭団体記載）

<p>(1) 当協会と連携した産業支援施策の実施について</p> <p>①コンベンション施策への支援</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・経済波及効果の大きい広域・大規模なコンベンションの誘致及び事業実施にあたっては、引き続き市と協会が連携して取り組むよう要望する。</li><li>（例）中部横断道沿線エリアとの経済交流、ホビー関連コンベンション、政府系コンベンションの誘致など</li></ul> <p>②産業施策のコントロールタワーの役割</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市、指定管理施設、外部団体（当協会、特産協、楽市）が有機的に連携して産業・企業支援施策を実施できるよう、施策の立案、調整などに取り組むことを要望する。</li></ul> <p>(2) 市OB職員の当協会への再就職者確保について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・当協会の目的を達成するために、地域の産業振興、大規模施設の維持管理や改修などの分野における行政経験が豊富な市OB職員の受入を希望している。</li><li>・市におけるOB職員の再任用などの給与条件と当協会の受け入れ条件に一定の差異があるが、当協会の事業内容や役割を考慮のうえ、希望に沿った対応を要望する。</li></ul> <p>(3) 当施設の維持管理に関する継続的な支援について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現在、施設の維持継続に要する経費（修繕等）の支援を受けているが、引き続きツインメッセ静岡の役割の重要性を踏まえ、継続的な財政支援を要望する。特に計画修繕については、第2次経営計画に基づく修繕を実施していくために、市総合計画における事業費の確保を要望する。</li></ul> <p>※（参考） 全国その他施設（団体事故所有施設）の状況を見ると、建設財源を行政が負担して建設しているなど、施設の性格上、行政の支援が不可欠となっている。</p>
--

### 5 外郭団体への要望・意見（所管課記載）

<ul style="list-style-type: none"><li>・ツインメッセ静岡のブランド力や強み、地域特性を活かした催事誘致により、本市の交流人口の増加及び経済活動の活性化に寄与してもらいたい。</li><li>・地域ブランドに特化した企画やトレンドを掴んだ自主企画を引続き行い、本市の産業振興に寄与してもらいたい。</li></ul>
--